

第32回 箕面市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 日時

平成28年11月28日（月） 午後2時00分～午後3時00分

2. 場所

箕面市役所 第3別館 大会議室

3. 出席者

(会長)

- ・箕面市副市長 伊藤哲夫

(副会長)

- ・大阪大学大学院工学研究科教授 土井健司

(監事)

- ・公共交通に見識のある行政経験者 清田栄紀
- ・箕面商工会議所副会頭 松出末生

(委員)

- ・阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部部长 奥野雅弘
- ・北大阪急行電鉄株式会社常務取締役延伸事業部長 神谷昌平（新委員）
- ・阪急バス株式会社自動車事業部長 野津俊明
- ・阪急バス労働組合副執行委員長 越智啓伸
(代理出席) 千里分会分会長 石崎宏司
- ・大阪高速鉄道株式会社総務部長 行祥雅（新委員）
(代理出席) 南伸準備室長 神田祥司
- ・みのおの交通を考える会 永田よう子
- ・箕面市身体障害者福祉会 川部三郎（新委員）
- ・栗生第二住宅自治会会長 苗村千枝子
- ・東急不動産 SC マネジメント株式会社みのおキューズモール総支配人 桑原克典
(代理出席) 長尾勇輝
- ・株式会社ビバーレコートビバーワールド 箕面船場統括マネージャー 米津秀春
- ・学校法人大阪青山学園学生支援センター 地域連携課 課長 福田貴夫
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官（総務企画） 村上進一郎
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官（輸送） 湯川義彦
- ・大阪府都市整備部交通道路室参事 安渡優
(代理出席) 都市交通課 山田純也
- ・大阪府池田土木事務所維持保全課長 進士肇
- ・箕面市みどりまちづくり部長 肥爪慶一郎
(代理出席) 道路管理室長 波多野輝
- ・大阪府箕面警察署交通課長 杉本信吾
- ・国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課長 安江亮（オプザバーバー）
(代理出席) 交通企画課専門官 稲留健一郎

- ・箕面市市政統括監 藤迫稔
- ・箕面市政策総括監（地域創造部担当） 柿谷武志

(欠席)

- ・大阪大学大学院 工学研究科助教授 猪井博登
- ・一般社団法人大阪タクシー協会常務理事 井田信雄
- ・自転車道ネットワーク公募市民 松木亮
- ・オレンジゆずるバス検討分科会副分科会長
- ・大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事 工藤寛士
- ・株式会社ジェット統括本部長 妹尾一男
- ・有限会社箕面自動車教習所取締役総務部長 桐村敏昭
- ・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第二課長 小丸博司
- ・国土交通省近畿運輸局自動車交通部旅客第一課長 新屋敷昭一（オブザーバー）
- ・箕面市政策総括監（地域創造部担当）兼地域創造部長 広瀬幸平
- ・箕面市健康福祉部長 大橋修二
- ・箕面市子ども未来創造局長 千葉亜紀子

以上、委員31名のうち20名出席、オブザーバー1名出席
新委員3名出席

4. 議 題

- (1) 平成27年度事業報告及び収支決算について
- (2) 本格運行、実証運行の状況について
- (3) 規約・規定の改正について
- (4) 地域公共交通網形成計画の作成について
- (5) 平成28年度予算の補正について
- (6) その他

5. 議事要旨

- (1) 平成27年度事業報告及び収支決算について

【原案どおり承認】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○特になし

- (2) 本格運行、実証運行の状況について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○特になし

- (3) 規約・規定の改正について

【原案どおり承認】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

- 議案送付から協議会までの期間が短く、内容について確認している時間が無い。
- 議案書の送付について、今後は内容確認期間を十分とっていただける様、早期の送付に努める。
- 事務局案として、新たな分科会を設け路線バス網に再編について検討していくことしているが、議案書送付が遅く、みのおの交通を考える会として議論する時間がとれず、今後の協議会への関わり方について思慮している。
- 「オレンジゆずるバス」の議論だけでなく、市全体の交通課題についてご議論いただけるものと考え、再構成した協議会にも参加いただきたいと考えている。
- 路線バス網の再編により、既バスルートが無くなるのではと危惧している方々が多くいる。利用者の声を十分吸い上げてほしい。
- 今後、バス利用者アンケートやなどを実施し、利用者方々の声をきっちりと聞きながら検討を進めていく。

(4) 地域公共交通網形成計画の作成について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

- 関係市町との調整は、どのように行っていくのか。
- 昨年大阪府に間に入って頂き、関係市町村と意見交換会を行なった。関係近隣市町との協議の具体的な進め方については、今後検討するが、路線バス網再編検討分科会で議論したもので調整していきたいと考えている。
- 路線再編することで種々意見が出たときの調整方法は。
- 市民・利用者アンケートを実施して、市民意向結果を踏まえ、これからも情報提供を行いながら引き続き調整していく。
- 今年度、オレンジゆずるバスの利用者アンケートも実施するのか。
- 今年度も実施します。
- 関係近隣自治体が協議会に参加しないのはなぜか。
- 公共交通網形成計画は、箕面市として区域を設定するもので、あくまで箕面市域内のバス路線網の再編の議論を行おうとするもの。市域外に影響がある場合は事前に関係市町村と調整を行いながら作成を進める。
- 路線バス事業者に再編にあたって財政支援は実施するのか。
- 考えていない。
- 箕面市が他市の協議会へ入り説明を行うことは。
- 昨年度から大阪府に間に入っていただき関係自治体との課題整理をしてきている。関係市町村も種々意見があることから、広域的な部分の議論は引き続き大阪府さんの力を借りながら調整していく。
- 市域を跨がる運航系統は路線バス事業者とともに、関係市町村と調整した上で、協議会に提案していただきたい。
- 今後も、大阪府とも協議しながら、引き続き調整を行い進めていく。
- 協議会の役割は、公共交通を軸として地域を活性化するという。公共交通そのものを活性化することではないということ。また、箕面市立地適正化計画の枠組みの中で、市として公共交通に関してできることをすることしかない。あまりセクショナルリズムでなくて議論することが必要。

(5) 平成28年度予算の補正について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

- 特になし

(6) その他

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○協議会の構成委員について、公共交通利用者を増やしてはどうか。

→市民団体の代表2名とオレンジゆずるバス検討分科会副分科会長にご参加いただく。今後実施していくアンケートや説明会、パブリックコメント等で大きく市民の意向を把握していく。

以上